

株式会社塚本電気設備

2019年度環境経営レポート

(対象期間:2019年 8月～2020年 7月)

発行日: 2020年 9月28日
改定日: 2020年10月29日

株式会社塚本電気設備

環境経営方針

当社は、電気設備工事業の事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。また、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油）
- 3 . 事業活動に伴う廃棄物の削減を推進します。
- 4 . 建設現場等での建設リサイクルを推進します。
- 5 . 水道水使用量の削減を推進します。
- 6 . 環境に配慮した電気工事を推進します。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2016年6月9日
改定日：2020年10月29日
代表取締役

塚本 栄

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社塚本電気設備
代表取締役社長 塚本 栄

(2) 所在地

本 社 〒671-0232 兵庫県姫路市御国野町御着721-6
資材置き場① 〒671-0232 兵庫県姫路市御国野町御着317-2
資材置き場② 〒671-0234 兵庫県姫路市御国野町国分寺772-1
大阪支店 〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目北1番21号
八千代ビル東館8階

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 常務取締役 塚本 恭央 TEL:079-253-3133
担当者 常務取締役 塚本 恭央 FAX:079-253-0676
Email:info@tsukaden.co.jp

(4) 事業内容

電気工事の設計・施工及び請負、消防設備工事の設計・
施工及び請負、電気通信工事の設計・施工及び請負、
管工事の設計・施工及び請負、機械器具設置工事業、
電設資材・家庭用・工業用電気機器の販売

(5) 事業の規模

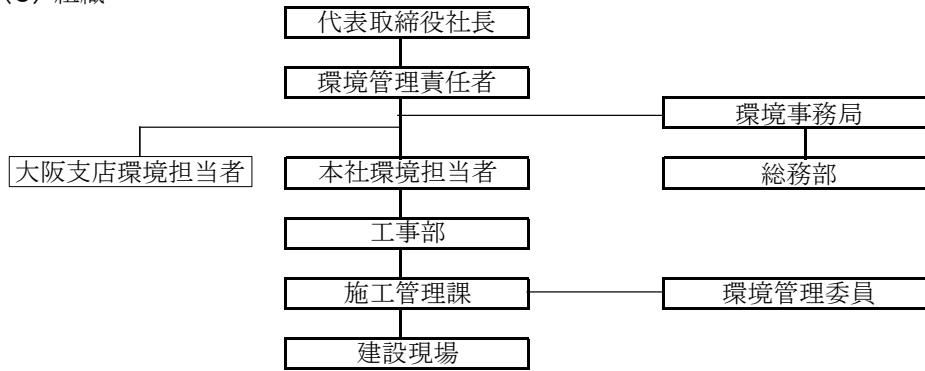
設立 創業 昭和36年10月
法人成 平成5年7月

資本金 2,460万円

建設業 年間工事完成高 3億2100万円(令和元年度)

	本社	資材置き場①	資材置き場②	大阪支店	合計
従業員	8名	-	-	1名	9名
延べ床面積	412.88㎡	101.8㎡	96㎡	29.09㎡	639.77㎡
敷地面積	354.67㎡	161.8㎡	96㎡	29.09㎡	641.56㎡

(6) 組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任及び環境経営方針(環境理念・行動指針)の制定と周知 環境管理責任者及び環境管理委員長の任命 環境経営システムの実施・管理に必要な資源の準備 環境経営システムの全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 環境管理委員長	環境経営システムの構築と運用 環境教育計画、環境経営目標及び環境経営計画の承認 代表者への環境経営システムの実施状況報告 外部からの苦情・要望等の受付と対応、結果の記録 環境経営レポートの発行 緊急事態の対応策作成と訓練実施計画の立案と実施 法規制等の遵守状況をチェック 環境管理委員会の設置と運営
EA21事務局	環境管理責任者の補佐 環境関連法規制等取りまとめ表作成及び環境経営レポート作成、備付及び地域事務局送付 環境教育計画訓練案作成・実施、環境経営目標及び環境経営計画の立案・作成 環境経営状況の収集・取り纏め・課題の整理(環境負荷チェック及び取組チェック含む。) EA21に関する活動の諸手続・窓口担当及び文書類の管理
環境管理委員会 代表者以外の全従業員	EA21の運営機関 環境経営目標及び環境経営計画の審議 環境経営計画の改善状況の審議
環境管理副委員長 (事務局)	省エネ(電力・燃料等)、水資源投入量及び紙資源等工事資材削減の推進 一般廃棄物の分別徹底と削減の推進
環境管理副委員長 (工事部-工事責任者)	工事現場の苦情等応急対応及び環境負荷低減の推進(騒音、粉じん、廃棄物管理等) ・産業廃棄物削減の推進及び自動車燃費の向上推進・工事担当者及び協力業者員への教育訓練 ・環境管理責任者への工事における環境状況等の報告・緊急事態訓練実施
環境管理委員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 (以上、全従業員も適用。)

(7) 事業年度

8月～翌年7月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名:	株式会社塚本電気設備
対象事業所:	本社、資材置き場①、資材置場②、大阪支店
対象外:	該当なし
活動:	電気工事の設計・施工及び請負、消防設備工事の設計・施工及び請負、電気通信工事の設計・施工及び請負、管工事の設計・施工及び請負、機械器具設置工事業、電設資材・家庭用・工業用電気機器の販売

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年度 基準年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	26,020	31,968	31,692	29,559	26,004
電力	kWh	14,315	13,055	13,231	13,734	12,600
ガソリン	L	6,936	9,154	9,539	8,544	7,155
軽油	L	1,995	2,469	1,993	1,996	2,014
廃棄物排出量	kg	10,949	8,865	6,508	14,324	20,356
一般廃棄物	kg	986	1,000	918	888	947
産業廃棄物	kg	9,963	7,865	5,590	13,436	19,409
水使用量	m ³	172	125	123	123	51

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、平成30年度関西電力公表の調整後排出係数 0.334kg-CO₂/kWh を使用。

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2015年度 基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		26,020	24,979	24,719	24,459	24,198
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
電力使用量削減	kWh		14,315	13,742	13,599	13,456	13,313
	kg-CO ₂ 対基準		4,781	4,590	4,542	4,494	4,447
ガソリン 使用量削減	L		6,936	6,659	6,589	6,520	6,450
	kg-CO ₂ 対基準		16,092	15,448	15,287	15,126	14,965
軽油 使用量削減	L		1,995	1,915	1,895	1,875	1,855
	kg-CO ₂ 対基準		5,147	4,941	4,890	4,838	4,787
Ⅱ. 廃棄物の削減							
一般廃棄物 削減(焼却)	kg		440	422	418	414	409
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
産業廃棄物排出量 削減(混合廃棄物)	kg		5,200	4,992	4,940	4,888	4,836
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
建設リサイクル率 の向上	%		47.81%	47.81%	47.81%	47.81%	47.81%
	対基準			維持	維持	維持	維持
Ⅲ. 水使用量 削減	m ³		172	165	163	162	160
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
Ⅳ. 環境に配慮した電気工 事(照明器具のLED化)	台数		1,555	1,602	1,617	1,633	1,648
	対基準			+3%	+4%	+5%	+6%

注) 環境に配慮した電気工事については、2016年度基準年度となる。

(2) 2019年度の実績

項目	年度	2015年 基準年度	2019年度の実績			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	26,020	24,979	26,004	96%	△
	対基準		△4%	△0.1%		
電力使用量削減	kWh	14,315	13,742	12,600	109%	○
	kg-CO ₂	4,781	4,590	4,208		
	対基準		△4%	△12%		
ガソリン 使用量削減	L	6,936	6,659	7,155	93%	×
	kg-CO ₂	16,092	15,449	16,600		
	対基準		△4%	+3.2%		
軽油 使用量削減	L	1,995	1,915	2,014	95%	△
	kg-CO ₂	5,147	4,941	5,196		
	対基準		△4%	+0.95%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減(焼却)	kg	440	422	414	102%	○
	対基準		△4%	△6.4%		
産業廃棄物排出量 削減(混合廃棄物)	kg	5,200	4,992	6,630	75%	×
	対基準		△4%	+21.6%		
建設リサイクル率 の向上	%	47.81%	47.81%	69.8%	146%	○
	対基準		維持	+31.5%		
III. 水使用量 削減	m ³	172	165	51	324%	○
	対基準		△4%	△237.3%		
IV. 環境に配慮した電気工事 (照明器具のLED化 注3)	台数	1,555	1,602	1,661	104%	○
	対基準		+3%	+6%		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成(達成度100%以上)、△：やや未達成(同95%～100%未満)、×：未達成(同95%未満)

注3) 環境に配慮した電気工事については、2016年基準年度となる。

注4) 2019年9月1日～2020年8月4日までの期間中は、事務所建て替えの為、仮事務所での営業。仮事務所では水道料金不要の為、水使用量は不明。期間中の水使用量は国分寺倉庫のみの数字となる。

注5) ガソリン使用量の増加については、遠方の現場が多かった事が原因と考えられる。

注6) 産業廃棄物(混合廃棄物)の増加については、工事量の増加が原因と考えられる。

注7) 建設リサイクル率の実績値は、(13,556Kg/19,409Kg)となる。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標やや未達成)		
(下記の通り)		
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	猛暑日が続き適正温度を守る事が難しかった。健康状態を害さない様、今後も気温に合わせて臨機応変に温度調整をしていく。
・PC未使用時、スリープ設定	◎	各自のPCでスリープ設定をし、未使用時節電画面状態を徹底できた。今後も継続していきたい。
・不要照明の消灯	◎	不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	◎	事務所不在時等は電源を切る事を意識して取組めた。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・アイドリングストップ	◎	材料等の積み下ろしの際も含め意識して取組めた。
・急加速・急停車の防止	◎	安全運転とエコを考え、取組めた。
・効率的な移動	◎	乗り合わせをするなど取組意識は高まっているので、次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 (目標やや未達成)		
・アイドリングストップ	◎	今後ももっと意識をしエコドライブを実行する。
・空気圧、オイル等の点検	◎	まだ点検漏れは多少でているので、徹底したい。 次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別の徹底	◎	市の分別に沿ってゴミの分別を徹底した。 今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物発生量の削減 (目標未達成)		
・素材ボックスの設置	◎	分別ができ、状態が把握できている。
・保管場所の掲示板を設置	◎	設置済みである。 今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクルの推進 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	◎	今後も分別を徹底しリサイクルに努めたい。
・仮設資材の再利用の推進	◎	再利用可能な仮設素材は再利用を徹底している。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	◎	ポスター貼付により意識が継続できているので達成できた。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した電気工事の推進 (目標達成)		
・照明器具のLED化の推進	◎	今後もより一層LED照明を推奨していきたい。
・電気料金節約のPR	◎	LED照明を販売することによって電気料金の節約のPRを行いました。今後もLED商品だけではなく省エネ商品のPRを行います。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
PCB特別措置法	PCB含有率調査申請請負 (含有調査申請のみ、引き取りなし)	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進（発電機）	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の廃棄時の適切な処理、定期点検と記録の保存	遵守

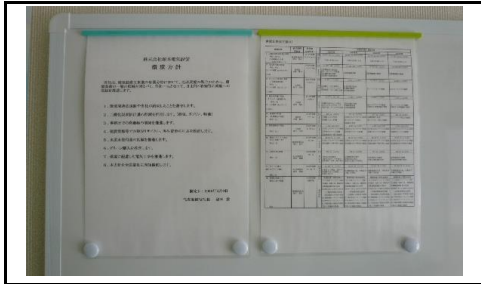
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は概ね遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度の後半は、コロナウイルス感染症の影響もあり受注工事数が減少しました。しかしながら、目標達成点は昨年度同様の基準に感じました。ここ数年横ばいの達成状況を打破する為に、次年度の目標として、先ずは一つ一つ目標を達成することを重要点に置きエコアクションに取り組みたいと考えています。また、未だ模索中ではありますが、このコロナ禍の状況だからこそできるエコアクションがあると考えられます。この点も視野に入れ、今後もエコアクションに取り組んで参ります。なお、環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更はしません。

2020年 10月 20日
代表取締役 塚本 栄

Ⅷ. 環境への取組の紹介



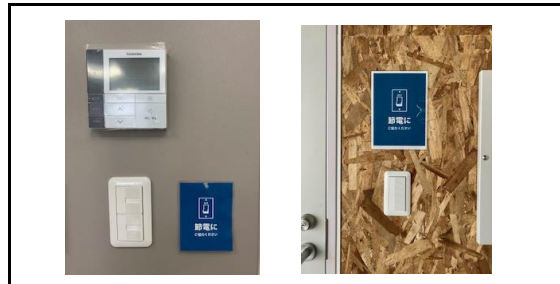
<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<省エネ>



<省エネ>



<節水ポスター掲示>



<節水>



<建設リサイクルの推進>



<建設リサイクルの推進>



<産業廃棄物運搬車両①>



<産業廃棄物運搬車両②>